

走査型電子顕微鏡で生物の世界を見よう2

募集期間	8月期 令和8年6月1日(月)～30日(火)		
講座概要	中学生を対象に、小型の走査型電子顕微鏡(SEM)を用いて、プランクトンや動植物などの生物の微細な構造を観察します。固定・乾燥処理を伴わない(あるいは済ませた)試料でSEM標本の作製を行い、実際にSEMを操作して撮影範囲や倍率を決め、画像をパソコンに取り込み、プリントアウトまでしてもらいます。SEMは2台使えますので、一人当たり約30分の観察作業(2～3サンプル)を予定しています。		
目的	<ul style="list-style-type: none"> 生物の持つ肉眼では見えないミクロな形態を観察することで、生物学の世界への興味をかきたてる。 自分自身の手で標本を作製し、走査型電子顕微鏡を操ることで、研究の世界に触れる。 		
講師	出野 卓也	所属	本学名誉教授
受講対象	子ども向け(中学生)		
受講料	無料	定員	10名
実施方法	対面 (全1回)	開催方法	天王寺キャンパス
注意事項			
持参物	筆記用具・USBメモリ(写真データ持ち帰り用ですが、任意です)		
備考	観察標本はこちらで用意しますが、観察したいものがあれば持参していただいて結構です。ただし、真空中に入れるため、乾燥しているか乾燥に強いもの、かつ1cm未満か、切り取れるものに限ります。分からぬ場合は、問い合わせてください。		

回	日程	時間	内 容
1	8月2日(日)	13:30～17:00	走査型電子顕微鏡を用いた実習

～講師プロフィール～

出野 卓也(本学名誉教授)

大阪教育大学の教養学科や初等教育部門で生物学、特に海産無脊椎動物の初期発生に関わる発生生物学専門に研究・教育を行ってきました。また、顕微鏡を用いた実習の指導に興味を持ち、取り組んできました。